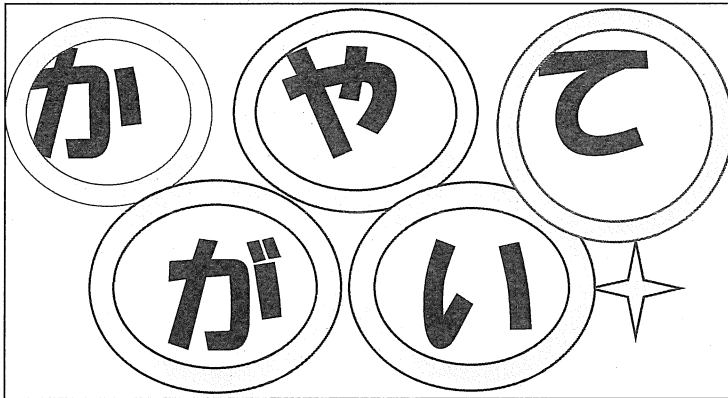




神奈川高齢者生協機関紙 2022年7月号 NO.198

発行責任者 星野 宗吾

〒231-0047

横浜市中区羽衣町 2-7-10 関内駅前マークビル 5 階

Tel045-663-8825 Fax045-662-9662

Eメール kanagawa-coop@koureikyou-k.com

神奈川高齢者生協

検索

第 17 回通常総代会を開催しました

本日は、コロナウィルス感染防止のために、事前の書面議決を前提に出席者数を制限して行う総代会となっております。

皆様のご参加、ありがとうございます。

まず、今年4月3日、訪問介護事業所の職員による不祥事がありました。この不祥事により当生協の信用が傷つけられ、利用者ご本人、ご家族、職員、組合員の方々にご迷惑をおかけしてしまったことを当生協を代表して深くお詫び申し上げます。職員のコンプライアンス（法令遵守）に大きなほころびがありました。

再発防止のため、今後こうした一般刑法や高齢者・障がい者虐待防止法、セクハラ、パワハラ等に抵触することのないよう、職場の職業倫理の徹底、相互牽制を図ります。

その一環として、本日午前中、4等級以上の常勤・非常勤サービス管理責任者を対象に、林正人理事の講師によるハラスメント研修が実施されております。

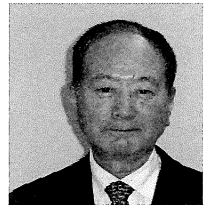
さて、連日報道されています2月24日のロシアによるウクライナ侵攻は、私共にとって大きな衝撃となっております。隣国に侵攻して国土を破壊し、病院、学校、施設までも標的にして、自分の国で平穏に過ごす当然の権利を侵害していることへの抗議をしないではおれません。しかも核兵器使用の脅しで、国連、周辺国、米欧からの反撃にブレーキをかけ続けています。

当生協の理念である「高齢者、障がい者、その家族の平穏な日常生活が保障され、平和な生活が実現していくよう共に支えあっていく」という目標の大切さを改めて考えさせられる日々であります。

2021年度の総括としまして、2年間以上に及ぶコロナ禍の中で、事業継続ができて、黒字化が連続してできたこと、職員、組合員の皆様のお働きに感謝し、喜ばしいと思います。ありがとうございます。

本日の総代会では、第三次中期計画の決定、2022年度の事業計画、予算決定をお諮りしてまいりますので、よろしくご協議の程お願い致します。

簡単ではありますが、理事長挨拶とさせていただきます。



理事長あいさつ（要旨）

神奈川高齢者生協 理事長

星野 宗吾

議案の概要

第1号議案 2021年度事業報告・及び決算関係書類承認の件

コロナ禍の中でも、利用高は5.6億円と予算を達成しました。経常剰余は予算未達成でしたが、583万円の黒字となりました。

3月末の組合員数は3013人、年度初めよりも130人の減少となりました。3月末の出資金は42,401口で、第2次中期計画の到達目標39,100口を達成しました。

2021年度事業別実績及び収支 (単位千円)			
	2021実績	2021予算	予算比
事業収入合計	561,455	539,041	104.2
事業経費合計	506,207	477,432	106.0
福祉事業剰余金	55,248	61,609	89.7
一般管理費	49,646	52,571	94.4
福祉事業総剰余金	5,602	9,038	62.0
事業外収益	2,095		
事業外費用	1,870		
経常剰余金	5,827	9,038	64.5
税引き前当期剰余金	5,827		
法人税等	344		
法人税等調整額	-574		
当期剰余金	6,057		

第2号議案 第三次中期計画決定の件

2022年度～2025年度を第三次中期計画期間とし、利用高6.5億円を達成し、安定的に黒字経営を実現すること、3,500人の組合員、45,000口の出資金の到達目標を決めました。

訪問介護事業所を増やしていくこと、コンプライアンスの組織運営、コロナ禍での組合員活動などの事業計画を決定しました。

第三次中期計画 (単位：千円)		2022	2023	2024	2025
利用高	年間	590,445	610,822	622,546	660,946
	月	49,547	50,902	51,879	53,129
剰余	年間	60,896	63,309	71,351	66,649
	月	4,631	5,276	5,946	5,554
率	人件費率	72.6	72.6	71.7	71.5
	原価率	89.7	89.6	88.5	90.8
経常剰余計		2022	2023	2024	2025
一般管理費	年間	55,700	57,000	58,000	60,000
経常剰余	年間	5,196	6,309	13,351	6,649

第3号議案 2022年度事業計画及び予算決定の件

利用高5.9億円、経常剰余500万円の予算、3,187人の組合員、45,869口の出資金の組織計画を決定しました。

藤沢地域での新訪問介護事業所の開設、コンプライアンスと「内部管理体制の確立」等の事業計画を決めました。

2022年度予算の概要 単位 千円			
	2022予算	2021実績	前年比
事業収入合計	590,445	561,455	105.2
事業経費計	529,549	506,207	104.6
福祉事業剰余金	60,896	55,248	110.2
一般管理費	55,748	49,646	112.3
福祉事業総剰余金	5,148	5,602	
事業外収支	-	225	
経常剰余	5,148	5,827	

第4号議案 定款改定の件

第3条「旅行事業に関わる条文」の削除、第28条に常任理事についての条文を追加しました。

第5号議案 役員報酬決定の件

2022年度役員報酬の総額を800万円（理事15名分）、30万円（監事3名分）としました。

第6号議案 役員退任慰労金支給の件

退任される前理事長吉田隆幸氏に対し退任慰労金を支給することを決めました。

第7号議案 役員選任の件

2022～2023年度理事15人、監事3人が選任されました。

第8号議案 議案決議効力発生の件

質問・意見に対する回答

総代会では発言・意見が出されませんでした。事前に議案説明動画を見た総代からの主なご質問にお答えします

第1号議案に対するご質問（主旨）

伊勢原地区 総代

日本高齢者生協連合会（連合会）からの脱退に関して、「和解契約」を結び「和解金」を支払った経緯について説明を。



第1号議案に対するご質問（主旨）

相模原地区 総代

「介護報酬ファクタリングサービス」に係る費用は決算上、どこに反映されているのか？また、今後どうしていくのか？



第1号議案に対する回答（主旨）

矢吹専務理事

私たちは、当時の連合会専務理事の不正等を理由に、2019年度11月の理事会で「2020年3月31日付脱退を連合会に予告すること」を決め、2020年7月18日第15回通常総代会議案で追認しました。

一方、連合会は、連合会会員規則と当生協定款に基づき、「脱退するためには脱退を議決した総代会議事録が必要」として、「脱退日は2021年3月31日である」と主張し、2021年度会費120万円（当時）の支払いを求めてきました。

双方の主張は平行線のまま、膠着状態が1年半続いていましたが、連合会代理人弁護士からの「和解契約の締結」と「和解金」の提案を受け入れ、2021年9月理事会で「和解契約を締結し、和解金として請求会費の半額相当の34万1500円を支払う」ことを議決しました。

この「和解金」は事業外収支の「雑損失」に計上し、会計処理をしています。

第1号議案に対する回答（主旨）

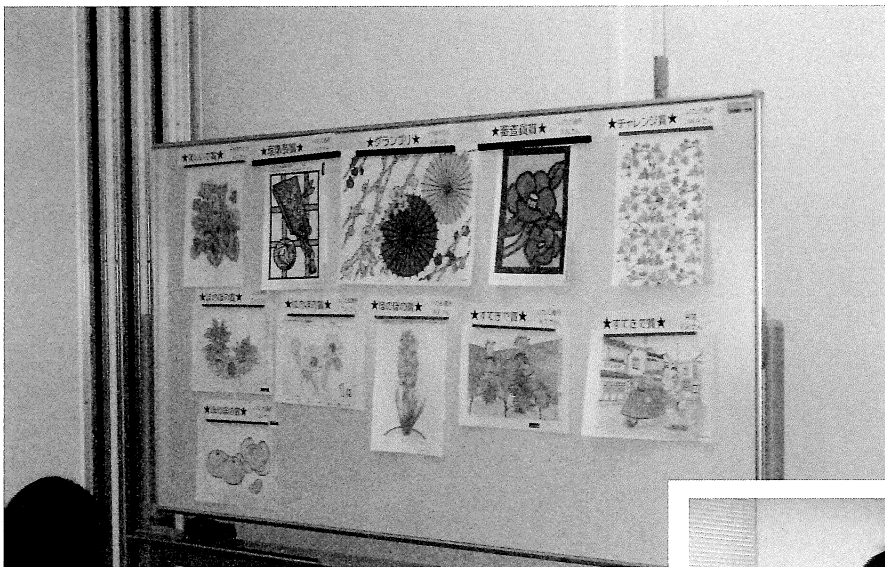
矢吹専務理事

ファクタリングサービスとは、介護報酬を早く現金化し、必要資金にするためのサービスです。当生協では2020年よりリコーリース(株)とファクタリングサービス契約を結んで、0.6%の手数料を支払うことにより、6事業所分の介護報酬(約1400万円)が45日早く、資金化されています。経営改善によって、資金状況は改善してきていますが、暦日数が少ない月、賞与支給月や出資金返還の月などは、月の半ばで資金状況が厳しくなる状態はまだ続いているのが現状です。手数料0.6%にかかる費用は、事業外支出である雑損失として会計処理していますので、事業所経費には含まれていません。

2022年度は、7月以降に資金前払い率の見直しなどを実施していきたいと考えています。

総代会会場で展示・ 販売を行いました

2年ぶりに、少人数でも総代が集まった総代会となりました。そこで、組合員や利用者の方の作品等を展示する小コーナーを設けました。来年度の総代会ではもう少し規模を大きくして、組合員の皆さんの作品をご紹介します場をつくっていききたいと思います。



4月号かがやいてに掲載した「ぬり絵コンクール」入賞作品を展示しました



ケアステーションいたどの利用者K.Tさんの手作りの手芸品を展示販売しました。

ケアステーションいたど 岩田由美子所長

K.Tさんは趣味の編み物を地元のフリーマーケットに出展しようと思いましたが、コロナの感染予防対策のため中止になってしまいました。日頃から作品の小物入れやバック等の色使いや糸の選び方、何より編み方の丁寧さに心を和ませて頂いていたヘルパーから「この作品を何とか大勢の人に見てもらいたい」との声が上がり、今回の機会を得られました。総代会当日、組合員の方々も作品を手に取り楽しいひと時を過ごして頂けたようです。

☆新入職員紹介☆



ケアステーション森の里こくど

サービス提供責任者 内田 五月さん

皆様、はじめまして。5月からケアステーション森の里こくどのサービス提供責任者として、入職いたしました内田五月と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

住まいは伊勢原、実家は厚木のため、森の里こくどの地は私にとって親しみ深い場所であります。

厚木市内の他訪問介護事業所で十年あまり勤めましたが、まだまだ、当地域で一緒にお仕事をした事のないケアマネージャーの方や訪問看護師など他職種の方が沢山おられて、新しい出会いに刺激を受けてばかりの毎日です。

利用者の方やご家族の方の思いを大切に汲み取り、他職種の方と協力しながら真摯に仕事に取り組みたいです。



本部事務局

渡辺 久美江さん

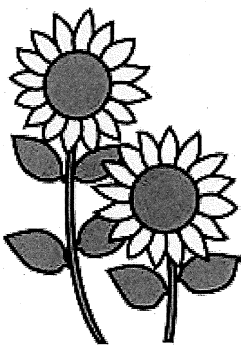
4月から本部職員として業務に就かせていただいております渡辺久美江と申します。

これまで、様々な業種に勤務し、様々な経験を積んできました。

ご縁があり介護業界に出会い、訪問介護、特養で2年間介護の業務に就き、介護の仕事の尊さを感じることができました。

不器用な性格ですが、tomorrow never come...で、業務に就きたいと思います。

どうぞ宜しくお願い致します。



本部事務局

眞鍋 スエ子さん

1月末より本部で経理事務を担当させていただいております眞鍋です。

話をすると関西の人ですかとよく言われますが、出身は四国のうどん県です。この夏は安心して帰省できますように。そして早くコロナ禍による制約から解放され平穏な日が戻りますようお願いしております。

利用者の方とは直接お会いしてお話しする機会はありませんが、皆様が笑顔で輝いて過ごせますよう、スタッフの方々と共にお手伝いできたらと思っております。また私自身も笑顔と感謝を大切に日々過ごしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

新役員の紹介

第17回通常総代会第7号議案「役員選任の件」の承認により、新役員が決まりました。

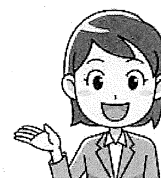


前列左より、齋藤知子、菅原 恵、矢嶋典子、
矢吹美樹、星野宗吾、吉田隆幸（退任）

星野正思

後列左より、林 正人、小池一成、中本郁美、
渡邊順子、岩田由美子、志村由香里、

岡田伸男、浅井優子、山森 靖、栗山克之、
伊藤 智、福地久仁子（敬称略）



理事会たより

2022年度第1回理事会 6月19日 15時34分～15時45分 会場:AP横浜D・E会議室

議決事項

理事長・専務理事・常任理事の互選、代表理事の選任について、下記のように決定しました。
（敬称略させていただきました）

理事長 星野 宗吾・代表理事
専務理事 矢吹 美樹・代表理事
常任理事 岡田 伸男、岩田由美子、小池一成



経営報告 2022年度5月の経営結果

組合員数 5月末組合員数 2,986名

4～5月累計加入数33名、同脱退数40名。累計計画24名に対し7名減。

出資金額 5月末出資金額 42,812万円

4～5月累計増資額103万円、同減資額41万円。累計計画52万円に対し62万円増の実績。
引き続き、組合員加入、出資金の増資にご協力をお願い致します。

利用高 5月実績 5,033万円 予算比102.3% 前年比111.2%

4～5月累計実績9,814万円 予算比102.1% 前年比106.4%

経常剰余 5月実績 134万円 予算比112.2% 予算差 +15万円

4～5月累計実績163万円 予算差+90万円

4月に続き、5月も利用高・経常剰余とも、予算を超過達成しています。前年の同月よりも、さらに利用高・経常剰余の達成率が改善されてきています。

4～5月累計でも、利用高・経常剰余とも予算達成となっています。訪問介護事業・居宅介護支援事業が好調に伸びてきています。通所の改善が課題です。